

コリント人への手紙第 1 3 章 1-23 節 不一致の原因

今日の説教箇所は 3 章です。パウロは、教会が分裂するという問題を本格的に取り上げます。彼はすでに 1 章の中でこの問題を紹介していました。それを踏まえて、パウロは、十字架の言葉すなわち福音に焦点を当てることによって語り、厳しい言葉で戒め、教会を分裂から一致へと矯正させようとしています。それが 3 章の内容です。パウロは、十字架につけられたイエス・キリストの福音だけを語ります。聖霊によって生まれ変わることがなかった人々にとっては愚かな話でした。だからと言って、彼はこのメッセージを、ことさら衝撃的に語ることも、余計なことを付け加えることも決してしなかったでしょう。本当に霊的な人には聖霊が内在している。その聖霊が、その人の内側から、神の言葉に込められた福音を、その人の生活に適用していく。2 章の終わりは、こんな内容でした。今日は 3 章を学びます。パウロは、福音と真の霊性について述べたことに基づいて、コリント教会の信徒が一致できない本当の理由とは何なのか、そのことがなぜ間違ったことであるのか、ということについて書いています。それではお祈りをしてから、コリント人への手紙第 1 の 3 章を見てみましょう。(祈り)

教会内で分裂が起こる理由、その第 1 は「霊的な未熟さ」のためである、とパウロは指摘します。パウロは、まず福音と真の霊性について踏まえた上で、3 章の冒頭で次のような言葉を述べています。3. **あなたがたは、まだ肉の人だからです。あなたがたの間にはねたみや争いがあるのですから、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいることにならないでしょうか。**この“あなたがた”とは、救われていない人たちではありません。キリストにある兄弟(姉妹)のことです。クリスチャンであったとしても、聖霊の導きとは違う、キリストとは似ても似つかぬ行動をとることがあります。古い罪深い自分のままに振る舞っていることがあります。そんな古い自分など、もうイエス・キリストと共に死んだはずですけど。こうした姿が、霊的に未熟である、ということなのです。ここで、未熟であるということは、大人であるべきなのに、子供やティーンエイジャーのように、幼いままでいる、ということです。パウロは、2 節でも霊的な未熟さについて続けます。2. **私はあなたがたには乳を飲ませ、固い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。**3. **あなたがたは、まだ肉の人だからです。あなたがたの間にはねたみや争いがあるのですから、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいることにならないでしょうか。**4. ある人は「私はパウロにつく」と言い、別の人は「私はアポロに」と言っているのであれば、あなたがたは、ただの人ではありませんか。

キリストにある兄弟姉妹が分裂していく。このことは、彼らの霊性が未熟であることを証明するものでした。もしも、皆さんが、全く成長しないお子さんをお持ちならば、心配ですね。親としては、その子を病院に連れて行って、医師に解決策を相談するでしょう。信徒が霊的に未熟であるということ。これは、教会にとっては深刻な病気でした。この分裂、「わたしはこの人の方が好き」「あなたはあの人の方が好き」などという単純な趣向の話ではありませんでした。この分裂は、信徒の間で**ねたみや争い**を引き起こしていました。この争いとは、深刻な戦い、意見が激しく対立することを言います。また、「ねたみ」という表現もあります。つまり、コリント教会の信徒達が主張を戦わせた末にリーダー達を選んだ。彼らがどのリーダーに従うか、その選択いかんで、優遇される側と冷遇される側とが生じた。冷遇される側は「ねたみ」を抱いた。そんな可能性があることを示しています。パウロは、そんな彼らに「**固い食物**」を与えたい、と言っています。これは 2 章 6~7 節で語っている「神の知恵」のことでしょう。しかし、彼らは、その神の知恵を理解するほど霊的に成熟していなかった。だから与えることができない、とパウロは言っています。彼らはあまりにも未熟なのです。それどころか、彼らはコリントに暮らす世間の人々のように、この世的な価値観に生きていたのです。"・・・**ただの人ではありませんか**"という表現の中に、彼らがそのような生き方をしていたことが想像されます。救われたあなたと、この世的な価値観に生きる人々との間に、何の違もない、ということなのです！これは、とんでもない非難の言葉です。救われたわたしたちと、この世的な価値観で生きる人々とは、異なる存在であるべきです。マタイによる福音書 5 章 14~16 節ではこう言っています。イエスはこう言われる。14. **あなたがたは世の光です。山の上にある町は隠れることができません。**15. **また、明かりをともして升の下に置いたりしません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいるすべての人を照らします。**16. **このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。**つまり、彼らが霊的に未熟であったことから、教会の中で分裂を招いてしまいました。そのことで、この世的な価値観で生きる人々に対して、彼らはキリストの証し人としての価値を失ってしまいました。

教会内が分裂し、信徒たちの間で不一致が起こる理由、パウロはその第 2 番目の理由を 5 節において指摘します。コリント教会の信徒達は、教会におけるリーダーシップの本質とは何なのか、そのことを誤解していました。パウロが記した様々な手紙の中には、教会についての様々な描写が見られます。あるときは身体、あるときは建物、この 3 章では建物と庭として描写しています。5. アポロとは何なのでしょう。パウロとは何なのでしょう。あなたがたが信じるために用いられた奉仕者であって、主がそれぞれに与えられたとおりのことをしたのです。6. 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。7. ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。8. 植える者と水を注ぐ者は一つとなって働き、それぞれ自分の労苦に応じて自分の報酬を受けるのです。9. 私たちは神のために働く同労者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。共に指導的立場にある使徒として教会に仕えるアポロとパウロは、簡単に言えば、誰かが所有する畑で農作業をしているに過ぎません。教会は神が所有する畑であり、パウロとアポロは、この畑に種をまき、水を与えています。しかし、7 節にあるように、作物が成長するようにして下さるのは神様です。教会を分裂させてしまった信徒達は何を見ていたのでしょうか。農作業をしている農夫のことばかり見ていたのです。庭の手入れをするために雇った農家の主人など見ていなかったのです。実はもっと重要な事実があります。最終的に育った作物の責任を負うのは農夫ではありません。昔も今も、農家の主人である神が作物の責任を負うのです。コリントの信徒たちは、この事実をまったく見ることがなかったのです。

もう一つ、農家の主人と農夫の描写の中に、コリント教会の信徒達が見落としていた真理があります。8 節に「植える者と水を注ぐ者は一つとなって」とあります。ここでパウロが言っていること、それは、教会に仕えるリーダー（あるいはメンバー）がどんな役割を担っていても、わたしたちはみんな平等なのであり、他の人より優れているわけではないのだ、ということです。だからこそ、自分が従うのは誰、だからこの人は敵、あの人は味方と区別しようとするクリスチャンは、霊的には未熟で世俗的なのです。以前にも申し上げたことです。神は長老または牧師、そして執事を教会への賜物として特にお与えになりますけれど、誰もが、キリストの体の中で用いる賜物を持っています。一人一人が、キリストの体全体にとっては重要な存在です。わたしは、執事やナーサリーに奉仕して下さる方ではなく、長老なのだから、彼らよりも重要な存在なのだ、ということではありません。わたしたちには、それぞれ異なった役割や賜物があります。教会生活にとって、こうした役割や賜物はどれも必要不可欠です。一人の人間、あるいは、一人のリーダーを、他の人より上位に置く。そうすると、わたしたちは教会生活で重要な側面を見逃してしまいます。神学的な言い方をすれば、コリント教会の信徒達は教会論における重要なカギを見逃してしまいました。つまり、ひとりひとりとは不可欠な存在として体を作り上げる。この場合は「農場」を作り上げるのです。彼らはこのことを見逃してしまいました。

しかしパウロは、自分たちの好みで教会リーダーを選ぶことがなぜ間違っているのかを霊的に未熟な信徒たちに指摘するだけでは終わりません。パウロは 9 節で教会を農家の畑として描写することを終えますが、10~14 節では教会を建物として描写します。パウロは教会を建物として描写しながら、一人のリーダーが仕事の責任を負うということではない、各リーダーは、神に対してそれぞれの仕事の責任を負うのだ、ということを示します。10 節から読み始めましょう。10. 私は、自分に与えられた神の恵みによって、賢い建築家のように土台を据えました。ほかの人がその上に家を建てるのです。しかし、どのように建てるかは、それぞれが注意しなければなりません。11. だれも、すでに据えられている土台以外の物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。// 12. だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てる、13. それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。// 14. だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。15. だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。ここでもパウロは、自分が土台を作った、他のリーダーがその上に教会を建てた、と述べています。神は、パウロを用いて教会を始められました。それにもかかわらず、神は他の多くのリーダーを用いて、キリストの体を形作られました。パウロも、他のリーダーたちも、人間から承認を得るために教会で奉仕をしていたではありませんでした。神である主人の承認を得るために奉仕をしていました。神は、教会のリーダーたちの行いを裁きます。神が教会を建て上げるために彼らに命じた任務について、彼らの取り組み方を、彼らの行いを裁くための判断材料とするのです。エペソ人への手紙 4 章 11~12 節には、牧師や長老の働きが記されています。11. こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12. それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。神は、わたしや、エペソ 4 章にあるすべての牧師や羊飼いに、

キリストの体を建て上げるため、聖徒（すなわち皆さんのこと）を働き手として整える仕事をさせます。その責任を、神はわたしやすべての牧師や羊飼いに負わせます。教会における信徒の数は、その任務が成功したという指標にはなりません。巨大な教会で、偽りの教義を教える牧師が少なくありません。こうした牧師達は、神と直面する時が来ると、それ相応に、神の裁きを受けることとなります。完全にイエス・キリスト、すなわち福音の基礎の上に建てられている教会ならば、本当の教会なのです。このことが、パウロがコリント人への手紙第一をとおして強調してきたものです。すなわち福音です。まさに福音なのです。これが福音というものなのです。福音が第一です。それ以外のものは、後から付いて来ます。

YIBC は「教会がイエス・キリストの福音という土台の上に築かれると、神は何をなさることができるのか」を証する 1 つの実例です。わたしたち YIBC は、福音を宣べ伝える英語圏のバプテスト教会を、この地域に提供するために設立されました。60 年以上にわたり、神に献身した人々が、十字架の言葉すなわち福音を宣べ伝えてきました。やがて、牧師のわたしは裁かれます。YIBC の牧師と長老はすべて、福音の土台の上にどれだけ強く立っているか、そのことで裁かれます。牧師であるわたしも、神様がここで牧師や長老として導かれた方々も、YIBC を金や銀や宝石の上に建て上げるのでしょうか？それとも、簡単に壊れる木や干し草やわらの上に建て上げるのでしょうか？もし、教会がリーダーの人格の上に成り立っているとしたら、そのリーダーが教会を去ったら教会は滅びます。リーダーの人格を教会の土台とするならば、その土台は木や干し草や藁でしかありません。しかし、教会が聖書の御言葉を土台として築かれているとします。この土台は、イエス・キリストを明らかにし、福音を解き明かして日常生活へ適用させるものです。この土台ならば、教会を取り巻く状況は変化したとしても、教会はその強さを維持することができるのです。コロナ禍においても YIBC は繁栄し続けることができました。その理由は、牧師としてのわたしのリーダーシップや執事の支援というよりも、福音の強さのおかげであり、イエス・キリストという土台のおかげです。YIBC は福音に焦点を当てています。だから、YIBC は地域と共に変化を遂げるようになり、これまでよりも日本人の方々が集う教会になったのだと思います。近くの米海軍住宅地が閉鎖されることも、コロナ禍によって多くの駐在員が日本を離れたことも、まさに、神のみぞ知ることでした。もし YIBC の基盤を、英語圏の教会であることに固執したままであったならば、米軍基地が閉鎖された後、他の多くの国際的な教会と同じように閉鎖することもできました。しかし、これまで日本人の方々にはイヤフォンで日本語通訳を聴いていただいた英語礼拝を、逐次通訳によるバイリンガル礼拝に移行しました。ここに集う人々がキリストを知るために、最善となるようにしました。このことが、わたしたちがキリストを土台とするということの意味なのです。ここで語る聖書箇所は、直接的には牧師と長老に当てはまります。二次的には執事など他の教会リーダーに当てはまるかもしれません。やがて、わたしたち全員が神と向き合うようになり、わたしたちが教会に対してどのように貢献してきたのか、神に向かって答えることとなります。15 節はこのことを痛烈に警告しています。わたしたちが神と向き合うとき、神はわたしたちの行いを裁かれます。この裁きは、わたしたちの救いを決めるものではありません。救いは、わたしたちとキリストの関係だけで決まります。しかし、わたしたちが「**火の中をくぐるようにして**」救われたとしても、キリストと福音ではなく、自己に仕えてしまったために、自分の人生において何の価値も示すことができないこともあり得ます。わたしは牧師として、YIBC のメンバーである一人一人について、神様に対して責任を負っています。ですから、メンバーが礼拝に欠席すると心配になります。しかし、神様が建てようとしているこの教会、この神の宮に対して、わたしたち一人ひとりには賜物をいただいており、この賜物を用いて教会の形成に貢献できます。わたしたちは教会を建て上げているのでしょうか？それとも、わたしたちは互いに一致できなくなって、教会を破壊しているのでしょうか？まさにこのことについて、パウロは 16~17 節で語っています...。16. **あなたがたは、自分が神の宮であり、神の御霊が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。**17. **もし、だれかが神の宮を壊すなら、神がその人を滅ぼされます。神の宮は聖なるものだからです。あなたがたは、その宮です。**教会は神の宮です。わたしたちは共にその宮の一部なのです。もし、わたしたちが霊的に未熟であるために、教会の体を傷つけるようなことを言ったり行ったりするならば、神はわたしたちに責任を負わせます。また、この聖なる神の宮という概念には、わたしたち個人の行動や態度が重要である、ということも含まれています。神は、ご自分の教会の姿に、神の聖性、あるいは罪の無い様を反映させることを期待しておられます。パウロはこの手紙の後半で、教会の規律と悔い改めずに罪を犯し続ける会員を排除することについて述べています。しかし、教会全体の聖性に貢献するためには、わたしたち個人の聖性も必要です。ペテロの手紙 第一 1 章 15 節はこう言っています。「**むしろ、あなたがたを召された聖なる方に倣い、あなたがた自身、生活のすべてにおいて聖なる者となりなさい。**」わたしたち一人一人は、神が YIBC として建て上げている神の宮に対して、役割を担っています。そして神様は、わたしたち一人一人の役割に対する責任を、一人一人に負わせられます。

教会内で信徒たちの不一致が起こる理由、パウロはその第 3 番目の理由を 18 節において指摘します。彼らは、神の知恵ではなく、世の中の知恵に従っていました。パウロは、世の中の知恵と神の知恵との違いをすでに説明しました。18 節では、こう言っています。18. **だれも自分を欺いてはいけません。あなたがたの中に、自分はこの世で知恵のある者だと思ふ者がいたら、知恵のある者となるために愚かになりなさい。**コリント教会の信徒達が抱くプライドや（自分が賢いと思っている）思い上がりや、彼らを欺いて、彼ら自身に罪を犯させている。パウロはこの事実を突きつけています。彼らは神への敬虔さを演じながら、実際には世に従っているのです。そんな彼らにとっては愚かなことに思えるかもしれませんが。しかし、パウロが繰り返し指摘していることは、イエス・キリストとその自己犠牲的な十字架に焦点を当てることです。最後にパウロは、旧約聖書の言葉を借りて、この世の知恵から離れるように警告しています。彼はまず、ヨブ記の 5 章 13 節から引用して、19 節でこう続けます。「**神は知恵のある者を、彼ら自身の悪巧みによって捕らえる**」。神は、自分が賢いと思っている者が自分の目標に向かっていくことを妨げることができるのです。それからパウロは、詩篇 94 編 11 節を引用して、世間が賢いと言っていることは多くの場合愚かであると、神が言っていることを示しました。20 節にも、「**主は、知恵のある者の思い計ることがいかに空しいかを、知っておられる**」と書かれています。最後に、パウロはこう言って自分の主張を押し通します。すなわち、リーダーのことを、あたかも自分のものであるかのように誇るのはやめなさい。実際には、彼ら/わたしたちは、あなた方の教会に仕えるために存在しているのです、と。21 節にはこう記されています。「**ですから、だれも人間を誇ってはいけません。すべては、あなたがたのものです。22. パウロであれ、アポロであれ、ケファであれ、**」パウロはさらに続けます...「**また世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてはあなたがたのもの**」であると。わたしたちは神が指示することに従って生きている。この世的価値観で決めた線引きで物事に左右されることはない。このことを、パウロはここで聖霊を通して語っているのです。ローマ人への手紙の 8 章 38-39 節にも同じメッセージが書かれています。「**38. 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、39. 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。**」パウロの思考はここで終わります。わたしたちは、この人がわたしのリーダーだ、などとリーダーを誇ることはしません。羊飼いと羊を合わせた「からだ」は、キリストに仕え、キリストの宮を共に建て上げているのですから...。23 節の最後にあるように、... **あなたがたはキリストのもの、キリストは神のもの、** だからです。あなたはキリストのものです...わたしたちはキリストのものです...つまり、この教会、この神の宮はキリストのものなのです。わたしのものではありません...執事のものではありません...南部バプテスト連盟のものでもありません。イエス・キリストという土台の上に、神様が建て上げている教会なのです。そして、コリントで起こっていたように、このリーダーやあのリーダー、この音楽やあの音楽、あなたの好みやわたしの好みなど、わたしたちの焦点をぼやかせるものは、福音ではなく、わたしたちが生きている世界の価値観なのです。わたしたちは、十字架につけられた救い主のメッセージを愚かだと思っている世界に対して、教会として福音の光を照らす使命があります。横浜市中区仲尾台の人々が、この教会に集うわたしたちをとおして YIBC に目を向けたとき、彼らは福音を見ることができのでしょうか？それとも、世俗的な価値観しか見えないのでしょうか？日本のこの地域に、ご自分の神の宮を建て上げておられるイエス・キリストが、この地域の人々にご自身をハッキリと現わされますように。お祈りしましょう。

1 Corinthians 3:1-23 The Causes of Disunity

Here in chapter 3, Paul begins to really address the problems of division in this church. He had introduced the problem in chapter 1. Then Paul set up the hard words of admonition and correction that he is going to deliver here in chapter 3 by focusing on the Word of the Cross which is the Gospel. For Paul that Gospel of Jesus Christ crucified is his only focus, and he would never sensationalize or water down that message. Chapter 2 ended at what truly Spiritual people have the Holy Spirit applying the gospel found in the Word of God to their lives. Here in Chapter 3, Paul now focuses on the real reasons for their disunity and why it is wrong based on what he has discussed about the Gospel and real spirituality. Let's pray and then look at chapter 3 of 1 Corinthians. **PRAY**

The first reason that Paul points out for the division within the church is Spiritual Immaturity. From that starting point of the Gospel and real spirituality, Paul now opens chapter 3 with these words: **3 But I, brothers, could not address you as spiritual people, but as people of the flesh, as infants in Christ.** Notice, these are not unsaved people. They are brothers (and Sisters) in Christ. Even Christians can act in unspiritual and unChristlike ways that show that we are not being led by the Holy Spirit but are acting like our old sinful self, that has been put to death in Jesus Christ. This is spiritual immaturity. It is being an infant, when we should be a child or a teenager or an adult. Paul continues with this description in verse 2. **2 I fed you with milk, not solid food, for you were not ready for it. And even now you are not yet ready, 3 for you are still of the flesh. For while there is jealousy and strife among you, are you not of the flesh and behaving only in a human way? 4 For when one says, "I follow Paul," and another, "I follow Apollos," are you not being merely human?**

These divisions were showing the proof of the immaturity of their spirituality. If you had a child who never grew, you would be concerned. You would take them to doctors to try to find a solution. This immaturity was a serious illness in the church. It wasn't as simple as "I like this person better and you like this person better." It was causing **jealousy and strife**. Strife is serious fights, strong disagreements. And bringing in "jealousy", shows that they were likely choosing leaders based on these arguments and causing jealousy over the recognition that some were given and others not given based on who they followed. Paul says that he wants to give them "**solid food**", which would be the "wisdom of God" that he talks about in 2:6-7, but he can't because they can't handle that level of understanding. They are too immature. Not only that; they were acting just like everyone else in the world around them in Corinth. **"...being merely human"** gives us this picture. There is no difference from you and the rest of the world around you! This is a serious accusation. We are to be different from those around us. In **Matthew 5:14-16, Jesus says, 14 "You are the light of the world. A city set on a hill cannot be hidden. 15 Nor do people light a lamp and put it under a basket, but on a stand, and it gives light to all in the house. 16 In the same way, let your light shine before others, so that they may see your good works and give glory to your Father who is in heaven.** So, their spiritual immaturity had led to division and to a loss of clear Christian testimony in the world around them.

Paul continues with a second reason for the division and disunity in the church in verse 5. They misunderstood the nature of leadership in the church. In his letters, Paul paints a lot of pictures of the church. Sometimes it's a body, other places a

building, and here it is both a building and a garden. ⁵What then is Apollos? What is Paul? Servants through whom you believed, as the Lord assigned to each. ⁶I planted, Apollos watered, but God gave the growth. ⁷So neither he who plants nor he who waters is anything, but only God who gives the growth. ⁸He who plants and he who waters are one, and each will receive his wages according to his labor. ⁹For we are God's fellow workers. You are God's field, God's building. As apostles who are leaders in the church, Apollos and Paul are simply farmhands in someone else's field. They are planting and watering in God's field, the church. But it is God who gives the growth as verse 7 says. The people who were causing division in the church were focusing on the farmhands instead of the owner who hired them to tend the garden. More importantly than the owner of the farm, they missed the fact that these farmhands were ultimately not responsible for the plant that grew, but the owner, God was and still is.

There is another truth in this illustration that these messy believers in the Corinthian church missed and it is this. Verse 8 tells us, **He who plants and he who waters are one...** What he is saying here is that no matter what role any leader (or member for that matter) has in serving the church, we are equal, not better than others. So, this idea of choosing sides based on who you are following just shows the spiritual immaturity and worldliness of these Christians. I've said this before, but while God specifically gives Elders or Pastors and Deacons as gifts to the church, everyone has gifts to use within the body of Christ and each person is important to the body as a whole. I am not more important as an Elder than any of the Deacons or any nursery worker. Our roles and giftings are different, but each is essential to the life of the church. To put one person, or one leader above another misses this key aspect of church life. Or to put it in theological terms, they missed this key aspect of ecclesiology, that each member is essential to the body or in this case the "farm."

But Paul isn't done with showing these immature believers why choosing one church leader over another is wrong. From verses 10-14, he changes the illustration of the church to a building, which is how verse 9 ended. While he changes the illustration he is using, he continues to show that no one leader is responsible for the work, and that each leader is accountable to God for their work. Let's begin reading at verse 10.

¹⁰According to the grace of God given to me, like a skilled master builder I laid a foundation, and someone else is building upon it. Let each one take care how he builds upon it. ¹¹For no one can lay a foundation other than that which is laid, which is Jesus Christ. // ¹²Now if anyone builds on the foundation with gold, silver, precious stones, wood, hay, straw— ¹³each one's work will become manifest, for the Day will disclose it, because it will be revealed by fire, and the fire will test what sort of work each one has done. // ¹⁴If the work that anyone has built on the foundation survives, he will receive a reward. ¹⁵If anyone's work is burned up, he will suffer loss, though he himself will be saved, but only as through fire. Again, here Paul says that he laid the foundation and other leaders have built on it. Although God used him to start the church, God used many other leaders to shape the Body of Christ that God was building. Neither Paul nor any of these other leaders were serving the church to gain human approval, but the approval of the owner who was God. He is their judge for what they do as they do the work to build up the church that God has tasked them to do. [Ephesians 4:11-12](#) gives us the work of a Pastor or Elder. [11 And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers, 12 to equip the saints for the work of](#)

ministry, for building up the body of Christ. God will hold me and all Pastors or Shepherds here in Ephesians 4, accountable for that task – equipping the saints...(that's you) for the work of ministry in order to build up the body of Christ. And the size of the congregation is not the mark of success. There are pastors of huge churches teaching false doctrine who will be judged by God accordingly when they face him. Any true church is built completely on the foundation of Jesus Christ, the gospel. That has been Paul's emphasis so far throughout First Corinthians - Gospel, Gospel, Gospel. The Gospel is primary; everything else comes after that.

YIBC is a testament to what God can do when a church is built on the foundation of the gospel of Jesus Christ. We were started to provide a gospel preaching English speaking Baptist church here in this area and for 60 plus years men of God committed to the proclamation of the Word of the Cross – the gospel, have done just that. I will be judged and every Pastor and Elder of YIBC will be judged for how strongly we build on that foundation. Will I and others who God leads here as a Pastor or Elder lead in the building up of YIBC with Gold, Silver and Precious stones, or with the easily destroyed wood, hay and straw? If the church is built on the personality of its leaders, when those leaders leave, the church fails, because the personality of a leader is wood, hay and straw. But when the church is built on the foundation of the Word of God as it reveals Jesus Christ and all the implications and applications of the Gospel, then the church maintains its strength even when circumstances change. It is the strength of the gospel and the foundation of Jesus Christ rather than my leadership or the Deacons support that has allowed YIBC to continue to thrive during COVID. It is the focus on the gospel that has allowed us to change with our neighborhood and become more Japanese. It was not a surprise to God that the US Navy housing area near us would close or that COVID would cause many expats to leave Japan. If our foundation was being an English speaking church, we could be in the same position as many other international churches are after US bases have closed - the churches close. But our focus on Christ as the foundation means that we adjust to best help people know Christ, even when it means moving from an English worship with in ear Japanese to a truly bilingual worship service.

This part of the passage applies directly to Pastors and Elders and maybe secondarily to other church leaders like Deacons, but all of us will face God and answer for how we contribute to the church, which is why verse 15 is such a sobering warning. When we face God, he will judge our works. It will not determine our salvation; only our relationship with Christ determines that. But we could be saved “**as through fire**” and have nothing to show of real value in our lives because we served self instead of Christ and the Gospel. I as a pastor am accountable to God for each person who is a member at YIBC, which is why it concerns me when members are not present. But each of us have gifts that contribute to building of this church, this temple that God is building. Are we building up the church or tearing it down with disunity? That's Paul's focus when he continues in verse 16-17... **16 Do you not know that you are God's temple and that God's Spirit dwells in you? 17 If anyone destroys God's temple, God will destroy him. For God's temple is holy, and you are that temple.** The church is God's temple and together we are each part of that temple. If because of our spiritual immaturity, we say and do things that hurt the church body, then God will hold us accountable. Also present in this concept of a holy temple is that our individual actions and attitudes matter. God's expects that his church reflect his holiness, or sinlessness. Part of that, Paul will address later in this book as he talks about church discipline and removing members

who continue to practice sin with no repentance. But there is also the necessity of personal holiness in order to contribute to the holiness of the church as a whole. [1 Peter 1:15](#) “...but as he who called you is holy, you also be holy in all your conduct...” Everyone of us has a part to play in building this temple, this church that God is building at YIBC. And God will hold us accountable for how we do that.

There is a third reason for the disunity that Paul directly confronts starting in verse 18. They were following the world’s wisdom, not God’s. Paul has already explained the difference between the world’s wisdom and God’s and he says in verse 18, **18 Let no one deceive himself. If anyone among you thinks that he is wise in this age, let him become a fool that he may become wise. 19 For the wisdom of this world is folly with God.** Paul is confronting them on the fact that their pride and inflated sense of self-importance (*they think they are wise*) is deceiving them into sinning. They have turned godliness on its head, and instead are following the world instead of God. While it may seem like foolishness to them, the answer as Paul has repeatedly pointed out is focusing on Jesus Christ and his self-sacrificing crucifixion. Finally, Paul appeals to the Old Testament to warn them to turn away from their own worldly wisdom. First he quotes from the book of Job 5:13 as verse 19 continues... **For it is written, “He catches the wise in their craftiness,”** This shows that God can work against the goals of those who think they are wise. Then he quotes Psalm 94:11 showing that what the world says is the wise thing to do, God says is foolish in many cases. Verse 20 says, **and again, “The Lord knows the thoughts of the wise, that they are futile.”** Finally, he drives his point home by saying, stop boasting in your leaders as if you belonged to them, when in reality they/we exist to serve you the church. Verse 21 says, **21 So let no one boast in men. For all things are yours, 22 whether Paul or Apollos or Cephas** And he doesn’t stop at the leaders, but continues... **or the world or life or death or the present or the future—all are yours,** We are not subject to the boundaries of anything in this life except as God directs it, that’s what Paul is telling us through the Holy Spirit here. It’s the same message we see in his letter to the [Romans in chapter 8, verses 38-39](#) **38 For I am sure that neither death nor life, nor angels nor rulers, nor things present nor things to come, nor powers, 39 nor height nor depth, nor anything else in all creation, will be able to separate us from the love of God in Christ Jesus our Lord.** And that is where Paul ends this thought as well. We don’t boast in leaders because all of us together shepherds and sheep as the Body are serving Christ and building up his temple together... Because as verse 23 closes **...and you are Christ's, and Christ is God's.** You are Christ’s...We are Christ’s...that means this church, this temple he is building is Christ’s. It’s not mine...It’s not the Deacons...It’s not the Southern Baptist Convention’s. It’s God’s church that he is building on a foundation of Jesus Christ. And anything that causes us to lose focus on that, whether it is this leader or that leader as was happening in Corinth, or this music or that music, or your preference or my preference, does not reflect the Gospel, but the values of the world that we live in. As the church, we have a mission to shine the light of the gospel to a world that thinks the message of a crucified savior is foolishness. When Nakaodai, Nakaku and Yokohama look at YIBC through the lives of those of us who call this our church home, do they see that Gospel? Or do they see a reflection of the world that they live in everyday? May they see Jesus Christ who is building His temple in this place here in Japan. Let’s pray.